

# 東日本大震災救援カンパ

## 組合員の皆さんの善意により

## 総額5千3百万円を集約することができました ありがとうございました

3月11日14時46分頃、観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した「東日本大震災」により、各所で津波や家屋の倒壊、火災などで多数の住民が死亡するなど、甚大な被害が生じました。JR東日本、JR貨物においても大きな被害が発生し、被災地に取り残され、困難な生活に直面している組合員・家族をはじめとする被災者に対する支援は、一刻の猶予も許されないものとなりました。

JR連合は、こうした事態を踏まえ、JR東日本ユニオン、貨物鉄産労などの被災組合員に対する支援などを行うため、3月12日に緊急対応本部を設置し、労働組合の助け合いの精神を発揮し、すべての組織をあげて支援活動を進める方針を確認しました。

そして、この取り組みの一環として、全組合員を対象に、被災組合員などへの支援カンパを実施することを決定し、緊急の取り組みであったにもかかわらず、5千3百万円余りのカンパを集めることができました。

集まったカンパ金は、「カンパ対策委員会」、「執行委員会」における確認を踏まえ、被災組合員に拠出してきました。

### ○ 収 入

内 訳	金 額
組 織 内 カ ン パ	51,580,686
中華全国鉄路総工会	630,000
台 湾 鉄 路 工 会	1,645,000
合 計	53,855,686

### ○ 支 出

拠出内容	金 額
被災組合員・家族 への見舞金	33,570,000
連 合 救 援 カ ン パ	10,000,000
日 本 赤 十 字 義 援 金	10,000,000
合 計	53,570,000

# 被災した組合員・家族からの

# 御礼の声

3月11日に発生した東日本大震災で我が家も土台や家屋の梁が沈下し、半壊となりました。大工さんに応急対応を行って頂き、日常の生活には支障がない程度にはなりましたが、今度また地震が起きたらと思うと不安でいます。そうした中、JR連合の皆様からの心温まる励ましの言葉や見舞金を頂きまして、深く感謝いたしております。また、JR連合が東北各県に災害救援ボランティアを派遣されるなど、物心両面に渡り活躍されていることに対しても敬意を表します。これからの活動に私も微力ながら行動を共にすることを決意し、御礼の挨拶とします。

JR東日本ユニオン盛岡地方本部  
岩淵 哲夫 さん

3月11日に発生した東日本大震災で、私の住む福島県南相馬市鹿島地区は高さ10メートルを越すほどの大津波によりすべてを失いました。私も、家・田畑すべてを失い、見るも無惨な光景で体から力が抜けてしまうほどでした。ただ、何よりも家族全員が無事であったことが救いでした。その後、私たち家族は埼玉県の親戚の家に避難し、現在は南相馬市の仮設住宅に入居しています。この間、JR連合の皆様より心温まる見舞金を頂きありがとうございました。支援して頂いた多くの仲間の気持ちを忘れず、私たち家族はゼロからのスタートとなりましたが、負けてたまるかという強い気持ちで、復旧復興にむけ頑張りますので、今後とも応援お願いいたします。この度はありがとうございました。

JR東日本ユニオン水戸地方本部  
鈴木 清人 さん

今回、義援金を頂いたことに対し、ただただ感謝に堪えません。思いもしなかった二重生活を強いられ、多額の出費が続くなか、JR連合の皆様からのお心配りは本当にありがたいと、被災者のなかでも自分たちは恵まれていると思えました。避難生活が、あとどれほどつづくのか分かりませんが、頑張っていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

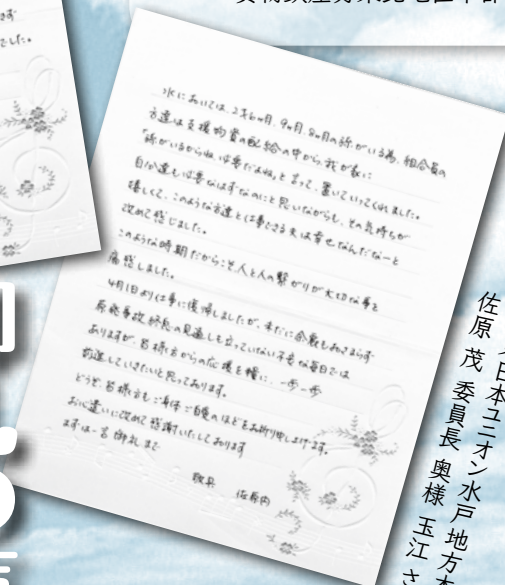
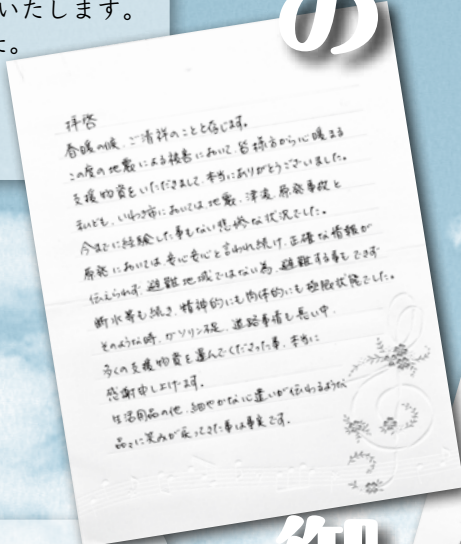
新生テクノス労働組合 前司 英男 さん

この度の震災において、多額のカンパ、支援物資、激励オルグを取り組んで頂き、JR連合の仲間に「感謝、感謝」の気持ちで一杯です。震災時は、家族と自宅におり、家屋の揺れ、食器棚、タンスの倒壊による騒音は、いまま耳から離れません。居住地区には高齢者が多いため、避難誘導にも難航し、追い打ちをかけるように、降雪による寒さのため、損壊した自宅に戻り、運び出せるだけの毛布を持ち出しての暖の確保、安否確保に走り回る状況でした。自宅は被害を受けたため、取り壊しを余儀なくされ、いまは基礎づくりの段階ですが、JR連合の仲間からの暖かい支援などにより、強い絆を再確認できたとともに、生活再建の力を与えて頂きました。ありがとうございました。

JR東日本ユニオン仙台地方本部 佐藤 仁 さん

貨物鉄産労東北地区本部は6月10日、福島県郡山市において被災組合員の激励会を行いました。組合員・家族から、「地震の時は今まで経験したことのない強烈な揺れで大切にしていた思い出の品がすべて壊れました」「自宅に居られずビニールハウスで暮らしていました」「多額の義援金頂きまして助かります。国や県、保険会社に先がけて頂き感謝しています。ありがとうございました」との話がありました。また、退職者連絡会の先輩からは、「自宅は一部損壊でしたが修理に大きなお金がかかり、落ち込んでいました。退職者の我々まで、ご心配頂きありがとうございました。頂いたお金は本当に助かります。今回のJR連合からの支援は忘れません」との御礼の言葉を頂きました。全国のJR連合の仲間の皆さん、本当にありがとうございました。

貨物鉄産労東北地区本部 橋本 均 さん



JR東日本ユニオン水戸地方本部  
佐原 茂 委員長 奥様 玉江 さん

この他、多数の組合員から御礼の声が寄せられています。